

輸送動向について（2月分）

平成27年3月

1. 輸送概況

今月は、中旬から北日本地区における暴風雪の影響、山陽線の旅客列車と乗用車の衝突事故の影響により、月全体で高速貨58本が運休となった（前年は高速貨402本、専貨34本が運休）。

コンテナ貨物は、農産品・青果物で民間流通米・北海道産野菜の出荷が好調を維持しているほか、食料工業品では清涼飲料水・菓子の発送が良好であった。また、鉄道へのシフトが進んでいる積合せ貨物でも増送となった。一方、国内新車販売台数の前年割れが続いている自動車部品や、白物家電の国内出荷金額が減少傾向にある家電・情報機器、樹脂・ゴムの出荷が低調な化学工業品で前年を下回った。結果、コンテナ貨物全体では前年比101.5%となった。

車扱貨物は、石油が北海道の輸送終了、セメント・石灰石は一部顧客において工事需要の減に伴い前年を下回る出荷となり、車扱貨物全体では前年比97.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では前年比100.2%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,731	1,706	101.5%	19,505	19,366	100.7%
車 扱	860	881	97.7%	8,014	8,532	93.9%
合 計	2,591	2,587	100.2%	27,519	27,898	98.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	175	151	24	116.1%
	化学工業品	164	172	-8	95.7%
	化学薬品	127	126	1	100.7%
	食料工業品	257	244	13	105.5%
	紙・パルプ	281	265	16	105.8%
	他工業品	125	129	-4	96.8%
	積合せ貨物	183	176	7	104.1%
	自動車部品	63	77	-14	81.5%
	家電・情報機器	33	38	-5	87.2%
	エコ関連物資	33	32	1	103.0%
	その他	290	296	-6	97.8%
コンテナ計	1,731	1,706	25	101.5%	
車 扱	石油	612	629	-17	97.2%
	セメント・石灰石	103	118	-15	87.2%
	車 両	93	86	7	108.1%
	その他	53	48	5	110.6%
	車 扱 計	860	881	-21	97.7%
合 計		2,591	2,587	4	100.2%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)